

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月14日

上場会社名 ナビタス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6276 URL <https://www.navitas.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 辻谷 潤一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日沼 徹 TEL 072-244-1231
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,073	△11.9	21	△47.0	19	△55.5	24	△79.6
2019年3月期第1四半期	1,218	9.9	39	△30.5	44	△27.9	121	172.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 21百万円 (△93.7%) 2019年3月期第1四半期 116百万円 (148.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	5.85	—
2019年3月期第1四半期	28.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,637	3,155	68.0
2019年3月期	4,740	3,168	66.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,154百万円 2019年3月期 3,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,700	7.9	130	△5.2	140	△4.7	120	△32.2	28.27
通期	5,400	9.4	260	13.4	280	11.0	240	34.3	56.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	5,722,500株	2019年3月期	5,722,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,478,945株	2019年3月期	1,478,935株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	4,243,562株	2019年3月期1Q	4,243,565株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(連結範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期は、基礎固めを終えた当社グループにとり、「2020年度に安定成長軌道に乗せる」という目標に向けた重要な期間と位置付けております。

2018年11月開催の臨時株主総会にて、ご審議・ご賛成をいただきました持株会社体制が4月よりスタートいたしました。事業ドメインと事業責任を明確にした組織体制の下で、スピード経営とグローバル展開を経営方針とした最初の四半期であり、全役職員一丸となって取り組んでまいりました。

装置事業を主たる事業とするナビタスマシナリー株式会社は、国内市場が前年度ほどの力強さは感じられない中で前年度並みの受注を継続しております。標準機の受注は底堅いものの、エンドユーザーのニーズがより多様化し、特注機の引き合いが全体を押し上げております。

商品事業を主たる事業とするナビタスニイズ株式会社は、国内外での成形転写事業や、海外向け箔などの伸長により、堅調に推移しております。

画像検査事業のナビタスビジョン株式会社は、引き続きカード・ラベル・ボトル印刷業界からの検査技術に対する高い評価により、国内市場に留まらず引き合いが多い状況が継続しております。課題として、例年通り、売上の年度末への集中と、年度初めの落ち込みがありますが、予算の平準化に向けての取り組みを当期も継続しております。

海外市場においては、NAVITAS VIETNAM CO., LTD. は堅調に推移しつつ、2019年1月から始動したNAVITAS THAILAND CO., LTD. の立ち上がりの受注状況はスムーズであり、ASEAN市場は引き続き回復基調にあると判断しております。中国市場は春節という季節要因を考慮しても、販売実績は前年同期を上回り利益水準は低いものの改善状況にあり、堅調と判断しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は10億73百万円（前年同期比11.9%減）となりました。また、利益面におきましては、営業利益は21百万円（前年同期比47.0%減）、経常利益は19百万円（前年同期比55.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として関係会社株式売却益を計上したことにより24百万円（前年同期比79.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態について、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億3百万円減少し、46億37百万円となりました。これは主として、現金及び預金が64百万円、受取手形及び売掛金が47百万円減少し、原材料及び貯蔵品が58百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して89百万円減少し、14億82百万円となりました。これは主として未払法人税等が60百万円、未払消費税等が36百万円減少し、流動負債（その他）が31百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して13百万円減少し、31億55百万円となりました。これは主として、利益剰余金が11百万円、その他有価証券評価差額金が4百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して1.2ポイント増加し、68.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績見通しにつきましては、2019年5月16日の決算発表時の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,372,293	2,307,344
受取手形及び売掛金	786,710	739,701
電子記録債権	186,306	131,262
商品及び製品	108,747	117,655
仕掛品	294,169	305,247
原材料及び貯蔵品	164,383	222,874
その他	101,188	84,288
貸倒引当金	△1,574	△2,803
流動資産合計	4,012,224	3,905,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,687	7,459
機械装置及び運搬具(純額)	27,631	26,725
土地	239,171	239,171
その他(純額)	27,785	26,966
有形固定資産合計	302,275	300,322
無形固定資産		
無形固定資産	28,116	32,488
投資その他の資産		
投資有価証券	256,120	256,359
退職給付に係る資産	904	1,291
繰延税金資産	99,643	100,025
その他	42,308	42,364
貸倒引当金	△683	△683
投資その他の資産合計	398,294	399,357
固定資産合計	728,685	732,167
資産合計	4,740,910	4,637,740

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	998,017	981,828
短期借入金	37,770	38,826
リース債務	5,040	4,937
未払法人税等	73,894	13,434
未払消費税等	49,326	12,431
賞与引当金	48,238	34,215
その他	243,845	275,829
流動負債合計	1,456,133	1,361,503
固定負債		
リース債務	8,633	7,447
役員退職慰労引当金	70,455	—
退職給付に係る負債	36,747	38,352
その他	—	75,180
固定負債合計	115,835	120,980
負債合計	1,571,968	1,482,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,918,775	1,918,775
利益剰余金	1,550,600	1,539,535
自己株式	△473,001	△473,005
株主資本合計	3,096,374	3,085,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,638	24,507
為替換算調整勘定	43,929	44,741
その他の包括利益累計額合計	72,567	69,249
非支配株主持分	—	702
純資産合計	3,168,941	3,155,256
負債純資産合計	4,740,910	4,637,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,218,943	1,073,379
売上原価	842,651	688,441
売上総利益	376,292	384,937
販売費及び一般管理費	336,566	363,868
営業利益	39,725	21,068
営業外収益		
受取利息	283	125
受取配当金	1,438	1,848
受取賃貸料	2,827	2,203
その他	2,616	194
営業外収益合計	7,166	4,371
営業外費用		
支払利息	370	7
売上債権売却損	50	87
為替差損	1,211	3,834
その他	457	1,552
営業外費用合計	2,090	5,482
経常利益	44,801	19,957
特別利益		
固定資産売却益	115,275	—
関係会社株式売却益	—	19,738
特別利益合計	115,275	19,738
特別損失		
固定資産除却損	476	—
特別損失合計	476	—
税金等調整前四半期純利益	159,600	39,696
法人税等	37,840	14,863
四半期純利益	121,760	24,833
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,760	24,828

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	121,760	24,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,687	△4,130
為替換算調整勘定	△3,328	802
その他の包括利益合計	△5,016	△3,328
四半期包括利益	116,744	21,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,744	21,510
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、タクトピクセル株式会社は、第三者割当増資の実施及び当社保有株式の一部売却により、連結の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社及び国内連結子会社は、2019年6月開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、「役員退職慰労引当金」に計上しておりました75,180千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社及び連結子会社の事業は、印刷機器関連の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（企業結合等関係）

（会社分割による持株会社体制への移行）

当社は、2018年11月28日開催の臨時株主総会の承認を経て、2019年4月1日付で当社を分割会社、当社の100%子会社である2社を承継会社とする吸収分割を実施し、持株会社体制へ移行いたしました。

共通支配下の取引等

（1）取引の概要

①対象となった事業の名称及び当該事業の内容

装置事業・・・特殊印刷機械等の製造販売

商品事業・・・特殊印刷機械の関連資材等の製造販売

②企業結合日

2019年4月1日

③企業結合の法的形式

当社を分割会社、当社の100%子会社である2社を承継会社とする吸収分割。

各事業の承継会社は以下の通りです。

装置事業・・・ナビタスマシナリー株式会社

商品事業・・・ナビタスニイズ株式会社

④その他取引の概要

ナビタスグループは、プラスチックの加飾機械としての熱転写装置、印刷装置及び成形転写装置並びにこれらの装置の関連商品等の製造・販売、また、画像検査システムとその周辺機器の開発・販売を行っております。また、重要主力製品と位置づけてきた「空気転写機(NATS)」への開発投資を継続すると共に、国内市場と海外市場（特に中国市場）への営業展開を積極的に行ってまいりました。

このような状況のもと、以下の目的を達成するため、当社の事業を分離し、持株会社体制に移行することで、ナビタスグループのグループガバナンス強化と企業価値の向上に取り組んでまいります。

- i グループ全体の事業最適化
- ii 戦略的意思決定とその迅速化
- iii 人材の育成
- iv 経営幹部候補の養成と子会社経営委任
- v 事業ドメインと事業責任の明確化

（2）実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成31年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理をしております。